

長岡市殿町二丁目山沢や方

南瀬原郡三糸山寺方

南瀬原郡見附町坂田方

三畝郡大河津駅前

刈羽郡柏崎町守田駅前

南奥沼郡六日町

北奥沼郡小出町駅前

杉山候補事公所

大坂市東区内平野町八

河上候補事公所

神戸市南町二丁目一七五ノ一

言論戦の秘勢

河上候補へ兵庫第一也

河上候補の演説會後史教

二月十九日を最終として現在櫻葉北の演説會数は五十三回豊原

弁士隊は坂本、森脇、一、水江、一夫、松澤、兼、関、平、弘、五

柴田、富太郎、三吉、良太、桑田、花三郎、恒路、井、雄、外、二十数名

應援弁士隊として高野博士、森子、辰男

加賀川豊彦、大石兵太郎 (四上)

(奥田は陳教授)

河野候補の演説會後史教

河野候補言論戦の火蓋は廿八日切れる。

二月十九日を最終として六十二回の演説がある。三輪幸の

長が喜ぶと言論戦を引受け南橋吉氏が應援に出る

坂本候補の演説會後史教

坂本候補は二十日、言論戦に入る

二月十九日を最終として十六日

各候補の動勢

河上候補(東京大田)

二十七日朝野會社の共業者は深川也(東京大田)

南川の農業紹介の同業者をあげてサトウと河上と競うを求めた。南橋

警備署は緊急に警備を動員し演説の中数人を検定した。

河上候補は演説會後史教を編纂するに努むる